

# 磐城民友新報

五日、廿日發行  
發行所 丸山春藏  
印刷所 丸山春藏  
福島縣平町五丁目二六  
磐城民友新報社  
一行五十員  
廣告料場所指定  
十員増

## 迎春之辭

主幹 丸山春藏

非常時昭和十年もとうとう去つて、茲に昭和十一年の新春を迎へたことを祝福したい。年々歳々時の流れといふものは、人の世の悲喜禍福などにかまはず、ずんずんと過ぎて行く。永劫の過去が、永遠の未來へ。それだけに人は新年を迎へる毎に目出度い目出度いといつて松竹を立て、お祝する。本當に目出度いと思ふて祝ふのか、又は何故に目出度いのか。屠蘇酒をのんで仕事を休んでのんびりした解放された気分になる事だけが嬉しいのは新年そのものを祝ふ意味にはなるまい。

## 縣下炭礦界に活躍する人

### 小田吉治氏

縣下に於ける個人經營その質の優良なる點では何と云ても元老小田氏を筆頭に擧げる事が出来る。それはその經營の巧妙や蓄財の龍大なるの故ではなく小田氏が眞に今日に至る迄の幾多の苦と努力の成果より吾等の規範とするに十分であるからである。



賀  
小間物店  
大黒屋  
平町一六  
電話二一六

經營上に全く盛衰浮沈の岐路に起つてその整理に非常なる困難を來した際氏の英斷的決裁によつて美事克服したと云つてゐる。斯くの如く他の困難を見て己の力に依つて救済した事例が幾度であらう。石語に「儀を觀てせざるは勇なきなり」と云てゐるが

## 書 初 め

年頭の辭 飯野村 渡邊一郎  
昭和十一年丙子の御歳を迎ふるに當つて特に感ずる事は日本精神である。兎角日本國民の常として急に熱し急に醒める弊があるこれは一時の流行的なものなれば差支もないことであるが、日本精神といふものは、一般社會は別として少くとも教育界だけでは年の改まると共に、日本精神の研究と其教育上に於ける實現の工夫とについて、更に一段の努力を必要とするものがある。切に教育界にこの一つだけを希望する。

平町助役 酒井寅之輔	平町 鹽谷茂雄	湯本町 樋口産婆看護婦學校	勿來町 金山炭礦鑛業所	勿來町 山添炭礦合資會社
川部村 江藤炭礦鑛業所	大日本炭礦 運輸主任 田子洋行	泉會議員 江尻博孝	泉會議員 鈴木孝昌	町 大津賀商店
好間村議 森榮太郎	好間村議 鈴木久吉	鎌田區長 岡田千藏	泉村 小林醫院	四倉町議 金成岩吉
四倉町議 豊田義孝	辯護士 山野邊義政	辯護士 眞木 桓	料理 太田屋	泉村驛前

謹賀新年

貴族院議員	金成通
衆議院議員	比佐昌平
衆議院議員	鈴木辰三郎
縣會議員	蓮沼龍輔
縣會議員	小松章
縣會議員	關内正一
縣會議員	野崎滿藏
縣會議員	小野晋平
平町々長	青沼鋒太郎
縣土木監督 不出張所長	小林清吉
小名濱築師所長	福來總十郎
內務技師	吉田庄太郎
好學校長	大越國治
赤井第二校長	諸橋久太郎
福島縣農工銀行取締役	諸橋元三郎
平信用組合組合長	諸橋敬一郎
平町釜屋會計	石城郡内各町村長
平信用組合主事	石城郡内各學校長會
石城郡内鄉村白水	白水炭礦
平町堀江工業株式會社	菅波末吉
漁業組合長	萬年瓦工業株式會社
四倉町	

植田町	秋山市造
平町	大一屋商店
錦村	昭和館
四倉町	額賀醫院
小名濱	西丸猛
平町	吉伴合資會社
平町	遠藤心光
湯本町	籠倉醫院
植田局長	馬上守一
植田町	衛生醫療園
植田町	山田屋別館
處方調劑	山野邊藥局
藥品一般	平町五丁目角
藥劑士	山野邊東次郎
植田町	鷺清昇
植田町	坂本龜太郎
植田町	佐藤三平
小名濱	木田齒科醫院
小名濱	石井醫院
小名濱	久保田醫院
植田町	山田屋本館
平町	強口唯七郎
平町	料理八千代

謹賀新年

富士食堂

電話七六七番

2590

湯本無盡會社

佐々木龍若

佐藤幸太郎

橫山商店

電話四九番

1930

入山採炭坑務所	磐炭鑛業所	古河好間鑛業所	萩原申八	小田吉治	東部電力平營業所	片倉磐城製糸會社	小名信用購販利用組合	平運輸株式會社	平藝妓屋組合	平料理屋組合	平三業保健組合	湯本藝妓屋組合	湯本西洋料理組合	四倉藝妓屋組合	磐城無盡商會	一德合資會社	關内藥局	小野屋藥局	水野藥局	多田井笑次郎	優良區より優良炭	高階炭鑛業所
---------	-------	---------	------	------	----------	----------	------------	---------	--------	--------	---------	---------	----------	---------	--------	--------	------	-------	------	--------	----------	--------

產品外來品

銅鐵金物問屋

福島縣平町

釜屋商店

磐城セメント會社特約代理店  
三井生命保險平代理店  
電話九番・九九番  
東京振替貯金口座一〇九五六

質の確實、廉賣は、當店の生命

好間軌道株式會社

主任 山崎佐市郎

平町古鍛冶町  
電話四二三番

建築物用材各種  
建築請負

志賀材木店

平町田町大通  
電話五九三番

硝子製塲工場

薄源治郎

內鄉村小島  
電話六九七番

高級割烹

末廣

平町田町  
電話四二二番

山田文一

平町南町  
電話二六二番

高久病院

平町田町  
電話五二三番

鈴木染物工場

場長 鈴木富五良

平町南町 電話四九二番

◇半天名入手拭  
◇江戸樓模樣形付  
◇其他洗張古物染替

當場主は本業に従事以來茲に四十五年間故に是迄の経験に困り如何なる古物にも經濟的に奇麗に染上りませす。